

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[情報](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は CSS 11000 および 11500 シリーズ コンテンツ サービス スイッチのセットアップ スクリプトの再実行で情報を提供したものです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書の情報は、次のハードウェアとソフトウェアに適用できます。

- すべての CSS 11000 および 11500 シリーズ コンテンツ サービス スイッチ
- Cisco WebNS ソフトウェアリリース 2.06 およびそれ以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

情報

セットアップ スクリプトは CSS が起動したある時最初に動作します。保存された startup-config が無いし、startup-config をアーカイブしなかった場合、CSS はセットアップ スクリプトを実行します。

セットアップ スクリプトを再実行することを望んだ場合これらの操作の 1 つを行うことができます:

- 実行設定をクリアし、`script play setup` コマンドを発行して下さい。
- `clear startup-config` および `clear archive startup-config` コマンドを発行して下さい。スイッチをリブートして下さい

関連情報

- [CSS 11000 シリーズ コンテンツ サービス スイッチの製品サポート](#)
- [CSS 11500 シリーズ Content Services Switch の製品サポート \(英語\)](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)